

基本的な考え方	基本目標	主な施策	平成28年度 予算額及び主な事業
<p>地域経済の持続的な発展</p> <p>「しごと」</p>	<p>日本で、世界で、稼ぐ産業の創出</p>	<p>仕事を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速交通網の拠点で稼ぐ まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ 新たな付加価値による農林業で稼ぐ 地域産業の競争力を高めて稼ぐ 	<p>【高速交通網の拠点で稼ぐ 予算額】 11億7,220万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港周辺プロジェクト推進事業 630万円 賑わい交流拠点整備事業 2,585万円 企業立地促進事業費補助金 1,400万円 <p>【まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ 予算額】 4億4,113万円</p> <ul style="list-style-type: none"> パラグライダーパーク整備事業 430万円 牧之原公園整備事業 4,600万円 蓬萊橋お休み処整備事業 250万円 <p>【新たな付加価値による農林業で稼ぐ 予算額】 6億8,897万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶業振興事業 2,672万円 がんばる認定農業者支援事業 2,000万円 木材需要促進事業 2,731万円 <p>【地域産業の競争力を高めて稼ぐ 予算額】 6,776万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業支援センター運営事業 445万円 島田市で創める新ビジネス応援事業 200万円 U I J ターン就職促進事業 100万円
<p>人口減少の克服</p>	<p>島田市に住み、好きになる</p>	<p>社会動態の均衡</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住の促進 シティプロモーションによるまちの魅力創造 	<p>【移住・定住の促進 予算額】 2,008万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住促進事業 438万円 30歳の同窓会実施事業 240万円 空き家バンク事業 126万円 <p>【シティプロモーションによるまちの魅力創造 予算額】 3,810万円</p> <ul style="list-style-type: none"> シティプロモーション推進事業 680万円 広報活動経費 617万円 広報発行経費 1,293万円
<p>「ひと」</p>	<p>希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする</p>	<p>自然動態の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 出逢い、恋して、結婚する 妊娠、出産する 子どもをまんなかに子育てする 豊かな心をもった子どもを育成する 	<p>【出逢い、恋して、結婚する 予算額】 390万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚支援事業 390万円 <p>【妊娠、出産する 予算額】 1億 882万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療費助成事業 253万円 特定不妊治療費助成事業 4,002万円 妊婦健康診査事業 6,627万円 <p>【子どもをまんなかに子育てする 予算額】 26億8,980万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育所建設助成事業 3,328万円 放課後児童クラブ施設整備事業 1,131万円 地域子育て支援センター事業 5,461万円 <p>【豊かな心をもった子どもを育成する 予算額】 7億5,116万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢・知育推進事業 700万円 外国人等英語指導経費 1,597万円 教育用コンピュータ整備経費(小・中学校) 6,073万円
<p>暮らしやすいまちづくり</p> <p>「まち」</p>	<p>水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり</p>	<p>人口減少時代を支える仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康長寿の促進 地域包括ケアの推進 住民生活を支える公共交通基盤の整備 	<p>【健康長寿の促進 予算額】 6億 959万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 健幸マイレージ推進事業 122万円 生きがい活動支援通所事業 5,033万円 各種社会教育講座 1,894万円 <p>【地域包括ケアの推進 予算額】 12億2,841万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業(介護保険事業) 343万円 在宅医療・介護連携推進事業(介護保険事業) 161万円 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業 2,170万円 <p>【住民生活を支える公共交通基盤の整備 予算額】 3億2,306万円</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス運行管理経費 2億2,742万円 バス路線運行維持助成経費 2,832万円 スクールバス運行経費 6,073万円

平成28年度 地方創生関連 当初予算

単位:千円

基本目標	H28			H27 予算額	増減額	増減率	H28 新規事業分	シェア
	予算額	特定財源	一般財源					
日本で、世界で、稼ぐ産業の創出	2,370,058	1,513,461	856,597	2,191,289	178,769	8.16%	180,230	29.11%
高速交通網の拠点で稼ぐ	1,172,197	975,608	196,589	1,106,883	65,314	5.90%		
まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ	441,132	173,449	267,683	390,793	50,339	12.88%		
新たな付加価値により農林業で稼ぐ	688,969	364,404	324,565	640,583	48,386	7.55%		
地域産業の競争力を高めて稼ぐ	67,760	0	67,760	53,030	14,730	27.78%		
島田市に住み、好きになる	58,177	9,566	48,611	46,027	12,150	26.40%	7,024	0.71%
移住・定住の促進	20,079	1,200	18,879	8,067	12,012	148.90%		
シティプロモーションによるまちの魅力創造	38,098	8,366	29,732	37,960	138	0.36%		
希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする	3,553,669	1,609,214	1,944,455	3,242,848	310,821	9.58%	54,093	43.64%
出逢い、恋して、結婚する	3,900	3,900	0	0	3,900	皆増		
妊娠、出産する	108,816	720	108,096	101,981	6,835	6.70%		
子どもをまんなかに子育てする	2,689,798	1,549,648	1,140,150	2,471,472	218,326	8.83%		
豊かな心をもった子どもを育成する	751,155	54,946	696,209	669,395	81,760	12.21%		
水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり	2,161,058	251,127	1,909,931	2,130,777	30,281	1.42%	58,810	26.54%
健康長寿の促進	609,589	138,469	471,120	653,213	-43,624	-6.68%		
地域包括ケアの推進	1,228,407	2,373	1,155,763	1,092,610	65,526	12.43%		
住民生活を支える公共交通基盤の整備	323,062	110,285	212,777	335,753	-12,691	-3.78%		
合 計	8,142,962	3,383,368	4,759,594	7,610,941	532,021	6.99%	300,157	100.00%

地方創生加速化交付金実施計画

① 〔地方公共団体名〕

都道府県名	静岡県
市町村	島田市
都道府県・市町村コード（5桁）	22209

② 〔申請額〕
〔単独事業分〕

No.	交付対象事業の名称	申請額（千円）
	島田市緑茶化計画	44,000千円
	【内訳】 賑わい交流拠点基本計画策定経費 21,600千円【都市計画課】	
	島田市緑茶化計画ブランド「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」 構築委託費 2,160千円【広報課】	
	島田市緑茶化計画ブランド商品テストマーケティング 10,800千円【広報課】	
	海外商標登録出願 800千円【広報課】	
	動画制作 3,240千円【広報課】	
	コンセプトブック・ポスター制作 3,000千円【広報課】	
	海外市場出展 2,400千円【農林課】	
	小計	44,000千円

地方創生加速化交付金事業 「島田市緑茶化計画」

【目的】

平成 27 年 11 月 1 日の島田市制施行 10 周年記念式典にて、市のブランドメッセージとして、国内向けとして「島田市緑茶化計画」、海外向けとして「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」を発表した。「自信」と「誇り」を持ち、「稼ぐ仕組み」として、お茶をキーワードに様々な事業展開を官民協働で進めていく。

【緑茶化計画とは】

広義には、島田市民のアイデンティティとなるものを「お茶」にすること。狭義には、ロゴやメッセージを事業に溶け込ませながら、例えば、小学校に緑茶の出る蛇口を整備していったり、郵便ポストや店舗の外壁など、島田市の街並みを緑茶色に変えていったりすること、また、それにより「当市緑茶化計画」の機運を醸成すること。

【事業概要】

「緑茶のまち」島田市の強靱化のための仕掛けづくり。

<市内戦略>

新東名高速道路インターチェンジ近傍に、賑わい交流の場となる島田市緑茶化計画推進拠点を形成し、雇用の創出を図る。また、民間事業者による緑茶化商品の開発を促進するとともに、市民や民間事業者と連携し、今年度制定した市の色である「緑茶グリーン」や島田市緑茶化計画ロゴデザインを公共施設や民間企業などで活用するよう積極的な取組を進め、市内を「緑茶化」する。

<海外・国内戦略>

商品売り出すためのプロモーションブランドとして島田市緑茶化計画「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」をつくり、緑茶化商品（お茶、日用品、健康グッズ等）の開発及び販売促進を図る。また、同時に外国人や県外者向けに、島田市の人々や文化がいかに「緑茶化」されたまちであるかを面白いエピソードと共に紹介し、島田市を知ってもらい、訪れてもらうプロモーションを行い、外国人観光客の増加を図る。

【事業内容】

●賑わい交流拠点とする新東名島田金谷インターチェンジ（料金所あり）近傍に緑茶化計画推進拠点を形成するための計画策定経費。

お茶カフェ、製茶工場見学施設を設置するとともに、交通結節点機能を活かし、お茶のみならず、大井川流域の農産物や近隣市の焼津のマグロなども集積されるマルシェやテイクアウトカフェ（レストラン）を設置する。さらには、計画地内に大井川鐵道のS L 新駅設置を視野に入れて計画を検討する。

- ・新東名島田金谷 I C 周辺賑わい・交流拠点形成基本計画策定経費 21,600 千円
内容：事業全体のゾーニング、基本コンセプト決定、施設内容の検討
グラウンドデザイン決定、施設配置、規模の検討
駐車場の確保・造成の検討

●「緑茶のまち」島田市として売り出すためのブランドとして、島田市緑茶化計画「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」を確立し、売る商品をつくる。そして、全国、さらには、世界に売り込む。

- ・島田市緑茶化計画「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」ブランド構築
委託費： 2,160 千円
内容：ワークショップなどによる検討会議を行い、ブランド構築
- ・緑茶化計画ブランド商品テストマーケティング
委託費： 8,100 千円 需用費： 2,200 千円 役務費： 500 千円
内容：緑茶化商品開発コーディネート、市場調査、
緑茶化ブランド商品のテストマーケティング
緑茶化商品候補を配布用にサンプル作成
- ・海外市場出展
補助金： 2,400 千円 内容：海外市場で出展するための経費を補助
補助対象：島田市茶業振興協会【J A、茶商等が参画する団体】
- ・海外商標登録出願
役務費： 800 千円 内容：ブランドロゴデザインを海外商標登録
- ・全国・世界に島田市緑茶化計画を売り込む動画制作
委託費： 3,240 千円 内容：動画を制作し、緑茶化をおもしろく発信
- ・コンセプトブック・ポスター制作
委託費： 2,500 千円 需用費： 500 千円
内容：コンセプト明確化、コンセプトブック・ポスター制作、印刷

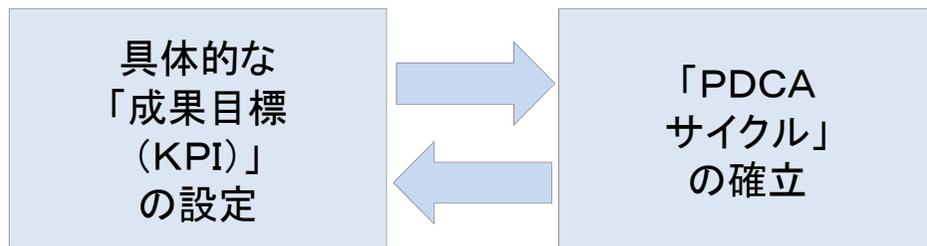
地方創生推進交付金（内閣府地方創生推進事務局）

28年度予算額 1,000億円（新規）
（事業費ベース 2,000億円）

事業概要・目的

○28年度からの地方版総合戦略の本格的な推進に向け、地方創生の深化のための地方創生推進交付金を創設

- ① 地方版総合戦略に基づく、自治体の自主的・主体的で先導的な事業を支援
- ② KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援
- ③ 地域再生法に基づく交付金とし、安定的な制度・運用を確保



事業イメージ・具体例

【対象事業】

① 先駆性のある取組

- ・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成
例) ローカル・イノベーション、ローカルブランディング（日本版DMO）、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点 等

② 先駆的・優良事例の横展開

- ・地方創生の深化のすそ野を広げる取組

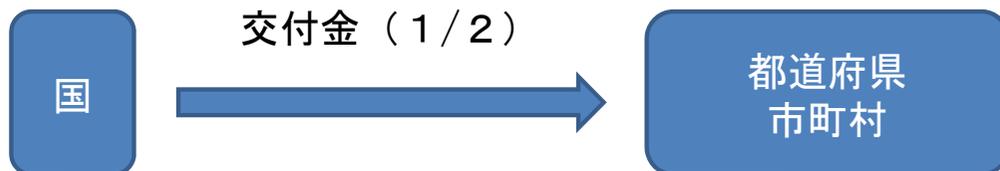
③ 既存事業の隘路を発見し、打開する取組

- ・自治体自身が既存事業の隘路を発見し、打開するために行う取組

【手続き】

- 自治体は、対象事業に係る地域再生計画（5ヶ年度以内）を作成し、内閣総理大臣が認定

資金の流れ



（1/2の地方負担については、地方財政措置を講じる）

期待される効果

- 先駆的な取組等を後押しすることにより、地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など地方創生の深化の実現に寄与

地方創生推進交付金の概要

- ・ 新型交付金（「地方創生推進交付金」）については、地方版総合戦略に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援する。
- ・ 3タイプとする。

先駆タイプ	横展開タイプ	隘路打開タイプ
・ 官民協働、地域間連携、政策関連系等の先駆的要素が含まれている事業	・ 先駆的・優良事例の横展開を図る事業	・ 既存事業の隘路を発見し、打開する事業
計画認定期間 5か年度以内	計画認定期間 3か年度以内	(横展開タイプと同じ)
交付金上限の目安 ・ 都道府県 1事業あたり 国費2億円 (事業費4億円) ・ 市町村 1事業あたり 国費1億円 (事業費2億円)	交付金上限の目安 ・ 都道府県 1事業あたり 国費5千万円 (事業費1億円) ・ 市町村 1事業あたり 国費2,500万円 (事業費5千万円)	(横展開タイプと同じ)

- ・ 都道府県5事業、市町村 2事業 までとする。
- ・ 事業ごとに、ふさわしい具体的なKPIを設定し、PDCAサイクルを整備すること。
- ・ ソフト事業を中心とするが、ソフト事業と密接に関連するハード事業（施設整備事業）（50%未満）は対象とする。
- ・ 地域再生法に位置づけ、法律補助とするとともに、地域再生計画について内閣総理大臣の認定を受けた事業に対して交付する。
- ・ 地域再生計画は、3年又は5年までの複数年計画とし、達成状況を検証した上で、翌年度以降も交付しうる仕組みとする。

【 H28 予算規模と財源構成 】

- ・ 交付金（交付率 1/2） 1,000 億円 （事業費ベース 2,000 億円）
- ・ 残り 1/2 の財政措置
 - ・ ソフト事業 その 1/2(全体の 1/4) 普通交付税措置
残り 1/2(全体の 1/4) 特別交付税措置
 - ・ ハード事業 地方債を措置 充当率 90%（普通交付税措置 30%）
（道、污水处理施設、港 公共事業等債適用）
- ・ 残余 一般財源